

第68回 全国植樹祭 とやま 2017

基本計画 <概要版>



富山県

第1章 開催概要

1. 開催意義	1
2. 開催理念	2
3. 富山県の特徴を活かした大会の基本方針	2
4. 大会テーマ	3
5. シンボルマーク	3
6. 大会ポスター原画	3
7. 開催時期	3
8. 主催	3
9. 開催規模	3
10. 開催会場	4

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方	5
2. 式典行事の構成(プログラム)	5

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方	6
2. お手植え計画	6
3. お手播き計画	6
4. 代表者記念植樹計画	7
5. 招待者記念植樹計画	7

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方	8
2. 施設配置計画	8
3. 主要施設計画	9
4. 案内・誘導計画	9
5. 飾花計画	9

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方	10
2. 招待計画	10
3. 招待者の行動計画	11
4. 受付計画	12
5. レセプション計画	12
6. 会場おもてなし計画	12

第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方	13
2. 宿泊計画	13
3. 輸送計画	13

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方	14
2. 開催会場	14
3. 開催規模	14
4. 荒天時運営計画	14

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方	15
2. 記念事業の内容	15
3. 関連事業の内容	16

第1章 開催概要

1. 開催意義

本県は、高低差4,000メートルのダイナミックで変化に富んだ地形を有しており、これを背景とした本州随一を誇る植生自然度に象徴される豊かな自然環境は、ライチョウ等の貴重な野生生物をはじめ多様な動植物を育み、私たちの生活の基盤である大気や水をはじめ、おいしいお米や種類豊富でキトキトの魚に代表される食の恵みをもたらすなど、私たちの命と暮らしを支えています。

一方、かつて山村住民とのかかわりの中で維持・管理されてきた里山林は、昭和30年代以降の生活様式の変化等により利用されなくなってきたため、平成19年度から導入した「水と緑の森づくり税」を活用し、生物多様性の保全や野生生物との共生を目指した里山の整備・保全を県民の協働で進めています。

また、「森は海の恋人」といわれるように、豊かな森が豊かな水と豊かな海を育みます。本県でも林業関係者と漁業関係者が協力して森林整備活動や魚礁の設置など様々な取組みが進められています。

他方、本県の森林の約19%にあたる53千haを占めるスギを中心とした人工林については、その多くが間伐等の手入れが必要な林齢から、木材として利用可能な林齢へと資源の充実を迎えています。今、我々はこの身近な木材を有効に活用することが林業・木材産業の振興にとって不可欠です。

こうした中、本県では花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を全国に先駆けて開発しました。伐採後の再生林にこの「立山 森の輝き」を積極的に活用し、均衡の取れた林齢構成の持続可能な森づくりにより森林資源の循環利用を促進していく必要があります。

北陸新幹線開業まもない時期に全国から多くの林業関係者をお迎えして開催することから、この機会を活かして、本県の豊かな森づくりの取組みが大きく前進する意義のある大会とします。

《 富山県における全国植樹祭の開催状況 》

全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑化に対する国民的理解を深めるため、公益社団法人国土緑化推進機構と都道府県の共催により行う国土緑化運動の中心的行事です。

大会には、天皇皇后両陛下のご臨席のもと、開催都道府県はもとより全国から多くの方々に参加していただき、式典行事や記念植樹などが行われています。

本県では、昭和44年5月、天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、砺波市頼成で第20回大会を開催しました。両陛下には、タテヤマスギ、ボカスギ、マスマスギの苗木のお手植えを賜るとともに、県内外からの12,000人の参加者により、スギ15,000本の植樹が行われました。



2. 開催理念

私たちは、全国植樹祭の開催を契機に、県民参加による健全な森づくりの一層の推進と森林資源の循環利用の促進による林業再生を図るとともに、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動やそこで育まれた歴史・文化など富山県の数多くの魅力を全国に発信し、緑あふれる自然といきいきと人が輝くふるさとを未来へつなぎます。

3. 富山県の特徴を活かした大会の基本方針

(1) 豊かな森を育て、林業・木材産業の明るい未来へつなげていく大会

① 県民参加による多様な森づくりの推進

県民参加の森づくり活動をさらに広げる契機とし、本県の豊かな森を県民共通のかけがえのない財産として、次の世代に引き継いでいきます。

② 持続可能な森づくりの推進と県産材活用による林業・木材産業の振興

県産材を積極的に活用し木の良さをPRすることにより、森林資源の循環利用を促進し、林業・木材産業の振興につなげていきます。

③ 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信

全国に先駆けて開発した花粉を全く飛ばさない優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を持続可能な森づくりを推進する上で必要な植林（再造林）の切り札として全国に普及します。

(2) 森づくりと海づくりの連携の推進

平成27年に開催された第35回全国豊かな海づくり大会の成果を引き継ぎ、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育てる県民の活発な実践活動を全国に発信し、一層の推進を目指します。

(3) 雄大な自然など富山県の魅力発信

本県の気候風土に育まれた富山の宝ともいえる数多くの魅力を全国に発信します。

(4) 「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会

北陸新幹線開業まもない大会であることから、県外からの多くの招待者などに対して、関係者はもとより県民全体で「おもてなしの心」で対応し、富山にまた来たいと思われるような「温かみ」のある大会とします。

4. 大会テーマ

全国から応募のあった1,434点の作品の中から、大会テーマ審査会で選定しました。

『 かがやいて 水・空・緑のハーモニー 』

作 者 : 濱田 典佳 (はまだ のりか) さん (富山県黒部市)

制作意図 : 富山の川、海、森林や空といった自然が調和して、私たち人間にさまざまな恩恵を与えてくれる様子を表現した。

5. シンボルマーク

作 者 : Shio Design 塩崎 歩美 氏
(「きときと君」のデザイナー)

制作意図 : 若葉とシャベルを手に植樹のお手伝いをする「きときと君」を中心に、周りに立山連峰から本県の豊かな森(優良無花粉スギ「立山 森の輝き」)、富山湾とそこに流れ込む川を配し、森づくりと海づくりを一体的にとらえ、豊かな自然を守り育て、輝くふるさと富山を未来へつなぐ県民の姿をイメージしたもの



6. 大会ポスター原画

富山県内の小・中学校の児童生徒から応募のあった654点の作品の中から、大会ポスター原画審査会で選定しました。

画 題 : 「森と水と」

作 者 : 浅井 さくらさん (富山市立東部中学校3年)

制作意図 : 森が豊かになれば、水も栄養豊富な豊かなものになり、最終的には、海も豊かになると思い描いた。



7. 開催時期

平成29年(西暦2017年) 春季

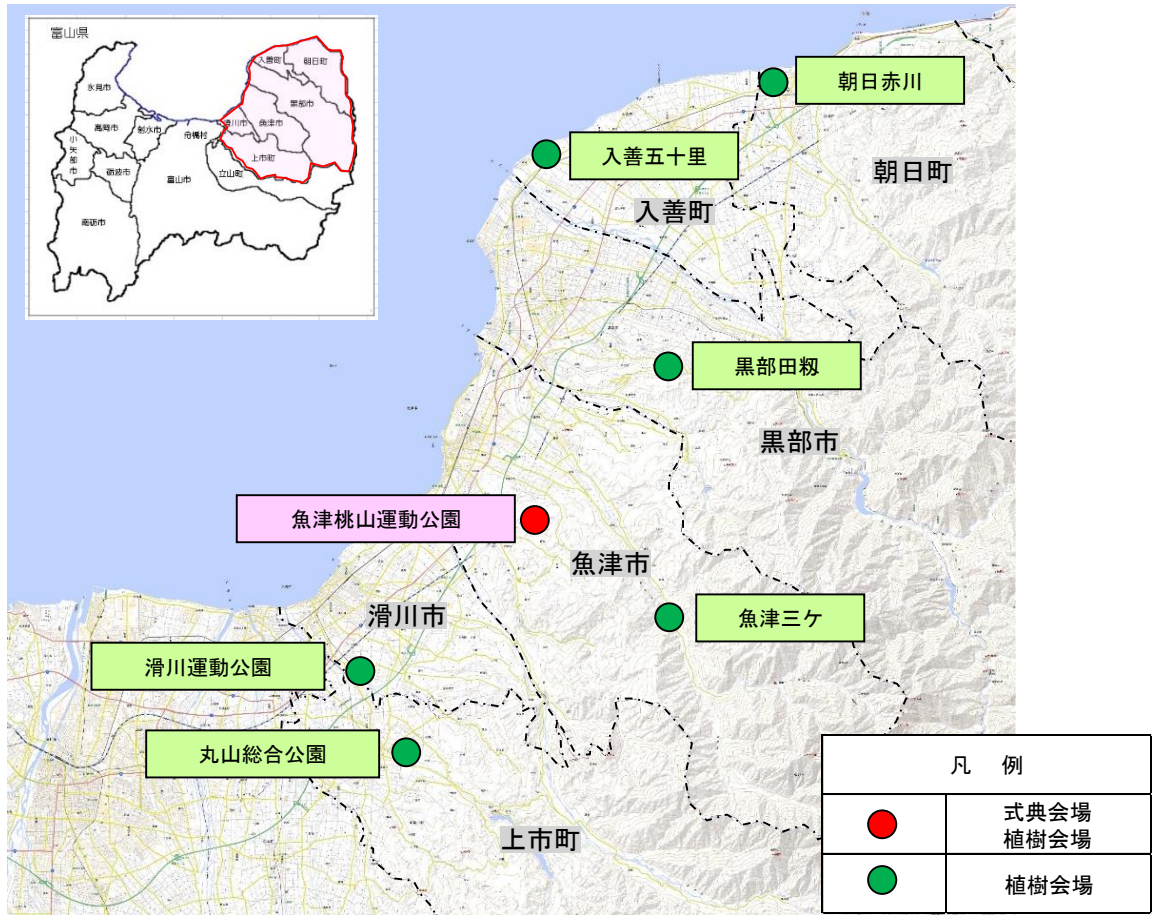
8. 主催

公益社団法人国土緑化推進機構
富山県

9. 開催規模

県内外からの招待者等を合わせて6,200人程度の規模で開催します。

10. 開催会場



(1) 式典会場

式典会場では、式典行事、天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き行事などを実施します。

○魚津桃山運動公園（富山県魚津市出字桃山36）

公園からは、日本海や北アルプスが眺望でき、県民の憩いの場となっています。



魚津桃山運動公園(空撮)



式典会場から望む日本海



式典会場から望む北アルプス

(2) 植樹会場

式典会場でもある魚津桃山運動公園に加えて、近隣の市町に植樹会場を設け、招待者の記念植樹を行います。

第2章 式典行事計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 参加者が開催理念を共有し、「また富山にきたい」と感じてもらう構成とします。
- ❖ 式典は簡素化を図りながらも、厳粛で品格があるものとします。

2. 式典行事の構成（プログラム）

式典行事は、プロローグ、式典及びエピローグの3部構成とします。

時間	区分	プログラム	内容等
45分程度	プロローグ	歓迎演出	テーマ～世界に誇るとやまの自然と文化～ ○「高低差4000m」のダイナミックで変化に富んだ地形がもたらす豊かな自然や文化を映像やダンスパフォーマンスなどで表現
50分程度	式典	天皇皇后両陛下 御到着	
		開会のことば	国土緑化推進機構副理事長
		三旗掲揚・国歌斉唱	
		主催者挨拶	大会会長(衆議院議長) 富山県知事
		表彰	緑化功労者などへの感謝の表彰
		苗木の贈呈	花とみどりの少年団から、 農林水産大臣と環境大臣に苗木を贈呈
		天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き	
		代表者記念植樹	県内外特別招待者
		大会テーマのアピール	テーマ～森・川・海のハーモニー～ ○「富山の神々しい山々」、「躍動感あふれる川」、「壮大な海」や森・川・海のつながりを創作劇などで表現
		大会宣言	国土緑化推進機構理事長
		リレーセレモニー	次期開催県への引継ぎ
閉会のことば	富山県議会議長		
		天皇皇后両陛下 御退席	
30分程度	エピローグ	エピローグ演出	テーマ～つながりあう森・川・海を未来へ～ ○招待者を歓送しメッセージを全国に発信

第3章 植樹行事計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 富山県の気候風土に適した広葉樹や優良無花粉スギ「立山 森の輝き」などを植栽し、県民参加による健全な森づくりと森林の循環利用の促進による林業再生を目指します。
- ❖ お手植え、お手播き樹種は、本県が「環境先端県」や「サクラの宝庫」であることをアピールでき、県民に親しみのあるものを選定します。
 - ①天皇陛下については、本県のシンボリックな樹種や森林資源の利活用を象徴する樹種
 - ②皇后陛下については、雪国である本県の里山を花で彩る樹種
 - ③本県の歴史・文化や産業、森・川・海のつながりなど、富山県らしさを表現できる樹種

2. お手植え計画

天皇陛下	タテヤマスギ 「立山 森の輝き」 	コシノヒガン 本県発祥の長寿のサクラ 	ヒメコマツ アルペンルートの代表種 
	コシノフユザクラ 本県固有の二度咲きのサクラ 	キタコブシ 雪国の春を象徴する花 	ホオノキ 万葉集では富山でのみ詠歌 

3. お手播き計画

天皇陛下	エドヒガン 日本を代表する長寿のサクラ、河岸に生育  	タブノキ 海岸に生育、森と海を結ぶ象徴  
	ヤマザクラ 菊と並ぶ日本の国花、野生種のサクラの代表種  	マルバマンサク 合掌造りの木組みの結束材に使用  

4. 代表者記念植樹計画

- ❖ 招待者代表は、天皇皇后両陛下の2本目のお手植えと同時に記念植樹を行います。
- ❖ 場所は、特別招待者席前で行うものとし、それぞれ1本ずつ植樹を行います。
- ❖ 樹種は、天皇皇后両陛下のお手植えと同じ樹種とします。

5. 招待者記念植樹計画

- ❖ 招待者記念植樹は、県内外からの招待者による1人1本以上の記念植樹とします。
- ❖ 県外招待者は、式典行事開始前の午前中に植樹し、県内招待者は、午前中を中心に植樹します。

《 招待者記念植樹による整備方針等 》

区分	会場名	本数	主な樹種	植樹による整備方針等
式典会場	①魚津桃山運動公園	3,000	コナラ ホオノキ イタヤカエデ など15種程度	《現況》コナラやアカマツ等高木類が衰退し、クズや竹等が繁茂する里山林 《整備方針》里山林の代表的な樹木や花木を植栽し、散策を楽しめる明るい里山林を造成
植樹会場	②朝日赤川	1,000	クロマツ タブノキ	《現況》海岸林未整備地 《整備方針》潮風や飛砂から田畑を守る海岸防災林を造成、森づくりと海づくりの連携を促進
	③入善五十里	1,000		
	④黒部田粍	1,000	優良無花粉スギ 「立山 森の輝き」	《現況》スギ人工林の伐採跡地 《整備方針》優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による再造林、森林資源の循環利用を促進
	⑤魚津三ヶ	3,000		
	⑥滑川運動公園	500		
	⑦丸山総合公園	500	コナラ オニグルミ エノキ など10種程度	《現況》上市川沿いに位置する公園内の未整備地 《整備方針》川沿いに多く生育する樹木を中心に植栽し、自然に親しめる森を造成
		500	コシノフユザクラ イタヤカエデ エゴノキ など10種程度	《現況》里山に位置する公園内の未整備地 《整備方針》地元ゆかりのサクラや、里山を代表する樹木を植栽し、四季の変化を楽しめる森を造成
	合計	10,000		

第4章 会場整備計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 会場等の整備にあたっては、土地形状の変更などにより自然環境に負荷を与えないよう、極力現地形を有効に利用し、経費の節減を図ることを基本とします。

2. 施設配置計画

(1) 会場周辺状況

- ❖ 会場は、式典エリア、実施本部エリア、おもてなし広場、入場チェックエリア等にゾーン分けします。



(2) 式典会場イメージ図



3. 主要施設計画

(1) お野立所

- ❖ お野立所は、富山湾と立山連峰の眺望が最も良い場所の近くに配置します。
- ❖ 県産材を使用し、植樹祭終了後に移設、再利用します。
- ❖ 散居村の「屋敷林とあずまだち」や「杉木立」、「立山連峰」などをモチーフに「富山らしさ」を表現するとともに、周辺の景観と調和のとれたものとします。



第68回全国植樹祭のお野立所[完成予想図]
(立ち並ぶ丸太が屋敷林やササラなどをイメージ、高さの違う丸太を用いて立山連峰を表現)

(2) 会場内工作物

- ❖ お手播き箱などの会場内工作物の作成にあたっては、原則として、県産材を使用することとし、安全性、経済性及び周辺の景観に配慮したものとします。

4. 案内・誘導計画

- ❖ 招待者が安全かつスムーズに式典行事や植樹行事などに参加することができ、各施設への移動に支障がないよう、案内サインを各所に設置します。
- ❖ 案内サインは、ユニバーサルデザインに留意し、招待者が見やすい色彩、大きさにするとともに、見やすい位置、高さに設置します。

5. 飾花計画

- ❖ 会場周辺の飾花は、県内産の花を使用し、会場の雰囲気を引き立てるとともに、招待者の安全かつ円滑な動線が確保できるよう配置します。
- ❖ 会場に設置するプランターカバーは、県産材を使用して製作します。



第68回全国植樹祭で使用予定のベンチ(左)、プランターカバー(右)

第5章 運営計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 全国からの招待者を富山県らしいおもてなしの心でお迎えし、第68回全国植樹祭の開催意義や理念を全国に発信します。
- ❖ 県内市町村、森林・林業関係団体、NPO法人及びボランティア団体等の協力・連携を図ります。

2. 招待計画

参加者区分		人数	備考
①中央特別招待者		30人	国務大臣、公益社団法人国土緑化推進機構会長、富山県知事、県議会議員、次期開催県知事 等
②特別招待者	県外特別招待者	220人	県選出国會議員、中央官庁・団体関係者、緑化功労者、コンクール入賞者、都道府県知事及び議会議員 等
	県内特別招待者	200人	県議会議員、市町村長、緑化功労者、実行委員会委員 等
	小計	420人	
③一般招待者	県外一般招待者	950人	各都道府県森林・林業関係者 等
	県内一般招待者	2,800人	県内の森林・林業関係者及び県内公募による一般県民 等
	小計	3,750人	
招待者小計 ①+②+③		4,200人	
④協力員/本部員		2,000人	
計 ①+②+③+④		6,200人	



式典の様子 参考例: 第66回全国植樹祭石川大会

3. 招待者の行動計画

時間	全体進行	中央 特別招待者	特別招待者		一般招待者	
			県外	県内	県外	県内
			(人数)	30人	220人	200人
7:00			指定宿泊地	指定集合地	指定宿泊地	指定集合地
7:30						
8:00			記念植樹 (植樹会場)		記念植樹 (植樹会場)	
8:30		指定宿泊地				
9:00	おもてなし 広場		入場チェック			
9:30		到着	着席			
10:00		着席	着席			
10:30	式典行事		プロローグ			
11:00			代表者植樹			
11:30			式典			
12:00		離席	エピローグ			
12:30			昼食			
13:00	おもてなし 広場	昼食	会場散策			
13:30			会場散策			
14:00			会場散策			
14:30						記念植樹 (植樹会場)
15:00		駅・空港	駅・空港 ※視察	指定解散地	駅・空港 ※視察	指定解散地
15:30						
16:00						

※招待者の行動計画は変更となる場合があります。

4. 受付計画

- ❖ 宿泊する招待者については、大会前日、指定宿泊施設にて1回目の受付を行います。
- ❖ 全国植樹祭当日の受付は、指定宿泊施設や指定集合地で移動用バスに乗車する前に行います。

5. レセプション計画

- ❖ 天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、第68回全国植樹祭招待者の来訪を歓迎し、懇親を深める場とします。

〔主催〕 富山県、〔開催日時〕 全国植樹祭開催の前日、〔出席者〕 350名程度

6. 会場おもてなし計画

- ❖ 式典会場と隣接しておもてなし広場を設置します。招待者が安心・安全・快適に過ごせるよう総合案内所や湯茶接待コーナー、救護所、仮設トイレ等を整備します。

区分	種類	内容
おもてなし 広場	総合案内所	参加者に対する各種案内・情報提供、案内誘導、各種パンフレットの配布、遺失・拾得物の管理
	おもてなしステージ	歌や踊り、郷土芸能等の披露
	湯茶接待コーナー	参加者に湯茶、ミネラルウォーターを提供
	販売コーナー	富山県内の特産品や飲食物の販売
	展示コーナー	富山県内の森林・林業、観光等を紹介
	臨時郵便局	郵便、宅配サービス
	救護所	参加者の体調管理・救護
	休憩コーナー	休憩用のテントを設置
植樹会場	案内所・簡易救護所	参加者に対する各種案内・情報提供・応急処置



おもてなし広場の様子 参考例: 第66回全国植樹祭石川大会

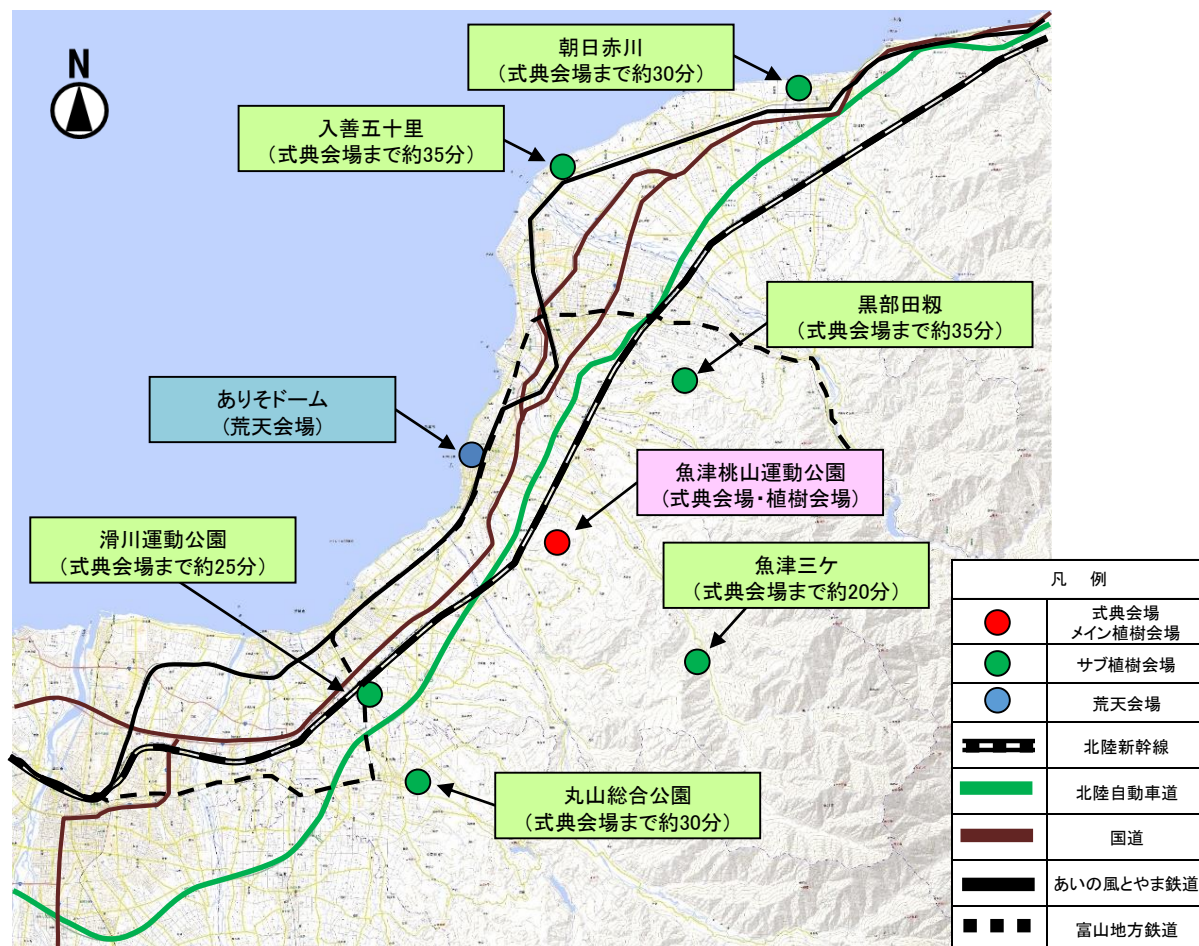
第6章 宿泊輸送計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 式典前日に、宿泊する招待者（主に県外招待者）は、式典会場や植樹会場の近隣地域などで、原則として、実行委員会が指定する施設に宿泊することとします。
- ❖ 式典当日は、前日宿泊した招待者は宿泊施設から、宿泊しない招待者等は最寄りの集落地から、原則として、実行委員会が準備したバスにより会場に移動することとします。
- ❖ 宿泊施設の収容人数、宿泊料金、道路交通事情、送迎体制、大会前後の視察ルートを総合的に勘案し、無理のない宿泊・輸送体制を整えます。

2. 宿泊計画

- ❖ 式典会場や植樹会場までの道路状況やアクセス及びスケジュール等を考慮した宿泊エリア・宿泊施設を選定します。



3. 輸送計画

- ❖ 参加者はバスで移動することを原則とし、参加者区分ごとに輸送計画を作成します。
- ❖ 参加者の安全で円滑な輸送を行うため、バス事業者、関係機関と協議・検討の上、運行ルートを決定します。

第7章 荒天時式典計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 暴風雨、集中豪雨等の荒天に見舞われ、式典会場での式典が困難であると判断した場合は、荒天会場で式典を実施します。
- ❖ 開催日の1週間前から随時情報収集に努め、式典会場での式典の実施の可否を判断します。
- ❖ 荒天会場での実施決定に備え、関係機関と万全の連絡体制を構築し、円滑な実施運営を行います。

2. 開催会場

- ありそドーム（富山県魚津市北鬼江2898-3）



3. 開催規模

県内外からの招待者等を合わせて2,000人程度の規模で開催します。

4. 荒天時運営計画

(1) 式典行事計画

- ❖ 式典を中心とした構成とします。

(2) 判定会議

- ❖ 荒天時や地震、突発事案の非常事態に迅速、適切に対応するため、必要に応じ大会開催の可否について判断する会議（以下「判定会議」という。）を設置します。
- ❖ 判定会議のメンバーやその召集方法、大会の中止・変更の判断基準とその対応について、ガイドラインを設定します。

第8章 記念事業等計画

1. 基本的な考え方

- ❖ 第68回全国植樹祭の開催機運の醸成と、開催理念や大会の基本方針について、県民に広く普及啓発するため、記念事業等を実施します。

2. 記念事業の内容

- ❖ 記念事業は、全国植樹祭の開催理念を達成するため、第68回全国植樹祭富山県実行委員会等が主催する事業とします。

① 全国植樹祭プレ大会

全国植樹祭の開催1年前の時期に、従来から春に開催してきた「とやま森の祭典」をプレ大会として位置づけ、大会の周知と開催機運の醸成を図るため開催します。

【時期】平成28年5月22日（日）

【場所】魚津桃山運動公園

【内容】式典（表彰など）、
記念植樹、森林整備、木工体験
（プランターカバーの製作）、
特産品の展示・販売、森づくり活動のPR



とやま森の祭典(H27.5開催)

② 全国植樹祭カウントダウンイベント

開催日決定を受けて、全国植樹祭開催機運を盛り上げるため、開催日までのカウントダウンイベントを実施します。

③ 苗木のホームステイ

第68回全国植樹祭で植樹する苗木の一部を県内の小中学校等で育てることにより、緑の大切さと森づくりへの関心を高めます。

【時期】平成26年秋季～

【規模】育成ポット 約6000個

【内容】花とみどりの少年団やとやまの森づくり
サポートセンター登録団体など県民参加
により苗木を育成



花とみどりの少年団による苗木の育成

④ 東日本大震災被災地へのエノキリレー

東日本大震災被災地復興支援のため、皇居内のエノキから採取した種から育てられた苗木を平成28年6月5日開催の第67回全国植樹祭で長野県から引継ぎ、1年間、県内で育成してから次期開催県の福島県にリレーします。（リレーされたエノキの苗木は、最終的に平成30年度の第69回全国植樹祭で植樹される予定）

3. 関連事業の内容

❖ 関連事業は、関連団体が主催する事業のうち、全国植樹祭の開催理念と関連があり、実行委員会と互いに連携していく必要がある事業とします。

① 第46回全国林業後継者大会

全国の林業関係者が一堂に会し、林業の振興と森づくりの重要性を再認識し、森林を育て活用し、県民運動を推進することにより、林業技術と元気な森林・林業を未来に引き継ぐことを発信するための大会を開催します。

【時期】平成29年春季（第68回全国植樹祭開催日の前日）

【場所】未定

【内容】林業者の活動報告、パネルディスカッション 等

② 地域リレー植樹

全県的な開催機運の醸成と、県民参加による森づくり活動を進めるため、県内全15市町村が、それぞれ地域特性に応じた植樹イベントを実施します。

【時期】平成28年春季～

【場所】県内各地域

【内容】植樹、森林整備、木工教室 等

③ 県民参加の森づくり関連イベント

とやまの森づくりサポートセンターを通じて、企業・森林ボランティア団体等が参加する森づくりイベントなどを、第68回全国植樹祭の関連事業と位置付け、相互に連携して情報発信等を行います。

【時期】平成28年（年間）

【場所】県内各地域

【内容】植樹、森林整備、木工教室 等

「予定されているイベント」

森づくりボランティア交流会（4月）

森づくりボランティアの集い（9月）



森づくりボランティアの集い（H27.9開催）

④ 第51回全国木材産業振興大会

全国の木材業関係者が一堂に会し、木材産業振興への意識の高揚と、木材利用拡大を発信するための大会を開催します。

【時期】平成28年11月10日（木）

【場所】富山県民会館

【内容】式典（表彰など）、基調講演、パネルディスカッション 等



第68回全国植樹祭 基本計画 <概要版>
平成28年2月

富山県農林水産部 森林政策課

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

電話番号：076-444-4077（直通） ファクシミリ番号：076-444-4428

ホームページ：<http://www.pref.toyama.jp/>

または、「第68回全国植樹祭」で検索してください。